

# OpenShift Ready、 エンジニア視点によるデジタル変革への備え

日本アイ・ビー・エム株式会社  
テクノロジー事業本部 カスタマーサクセス  
シニア・マネージャー

大西 彰 ([Akira.Onishi@ibm.com](mailto:Akira.Onishi@ibm.com) Twitter: @oniak3)

# 自己紹介

<https://www.facebook.com/akira.onishi>  
Facebook「おにあく」で検索

Property	Value
氏名	大西 彰
Twitter/LinkedIn	oniak3
IT業界歴	31年目
直近の職歴	Microsoft 12年, IBM 3年4ヶ月と19日
HashTag	#いいねえ静岡生活
座右の銘	踏まれてもなお立ち上がる道の草
よく使う技	脳内変換で自分をポジティブに



URLに残る仕事をしよう

# Agenda

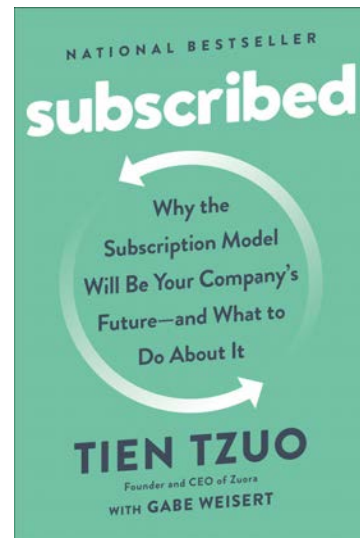
1. エンジニア視点のデジタル変革(DX)の世界観
2. Red Hat OpenShiftへの向き合い方
3. 未来に向かって
4. IBMからのお知らせ

お客様への強い好奇心で  
新しい未来を妄想し、  
実験を楽しみながら  
未来を形にしていこう

# サブスクリプション型ビジネスへの変化

所有意欲が低いデジタルネイティブ世代  
好きな時にすぐに利用できるサービス  
常に新しいバージョン

月額使用料だけではない  
→ サービスレベルに応じた契約



<https://jp.zuora.com/subscribed/>

# DX: デジタルに変えることの重要性

無駄な時間を省く

判断する時間を最小にする

どこからでもアクセスできるようにする

日本においては、**労働力人口減少問題**に対処する点で、特にAIへの期待が強まっている（諸外国の期待値の約2倍）

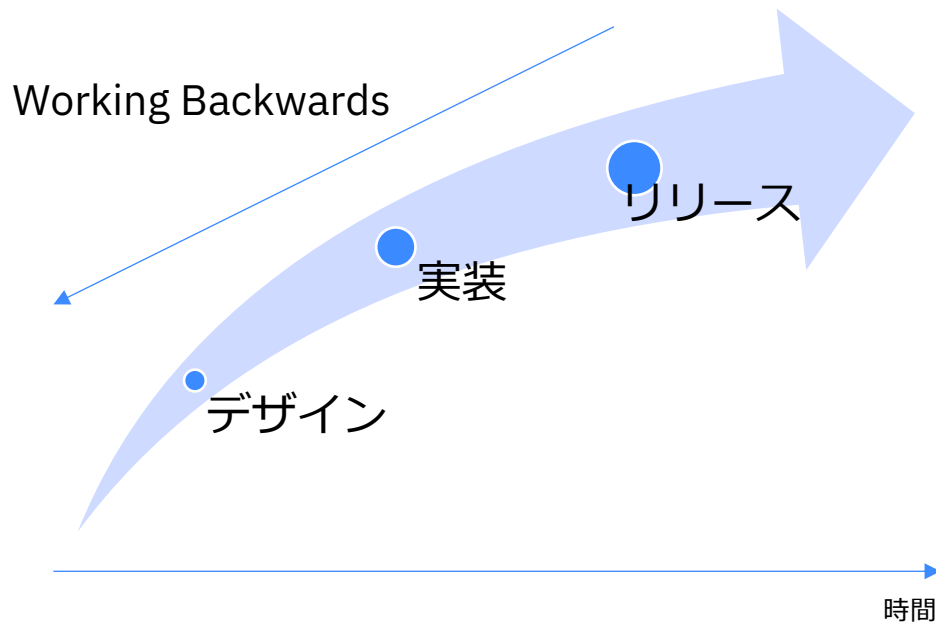
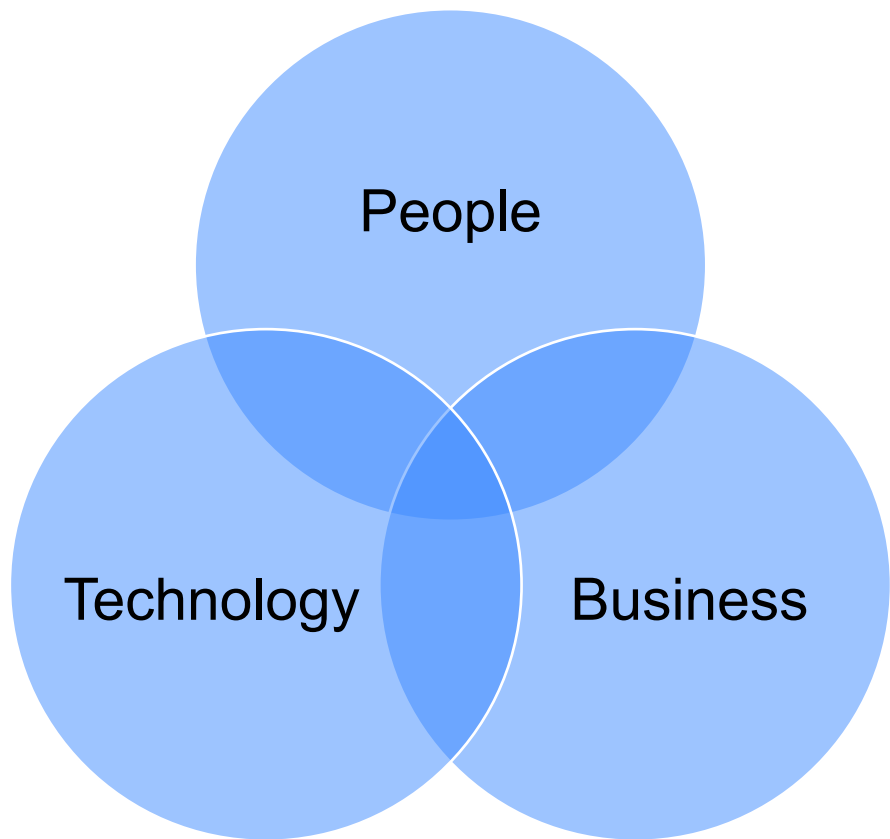
**ビジネスリーダー**、**ソフトウェア開発者**と  
共に進めるサービス開発が重要

しかし、日本企業のデジタル変革はなかなか進まない...

2025年の崖

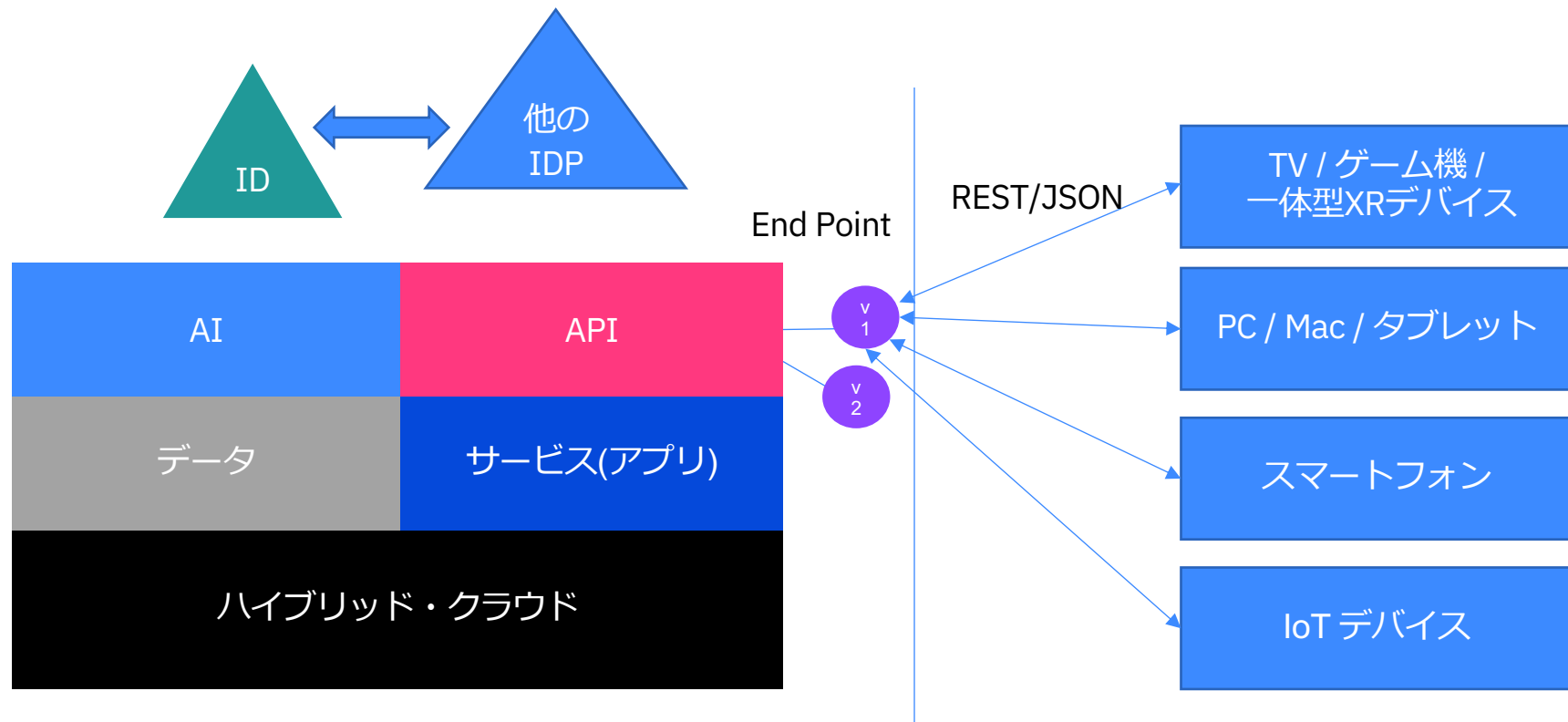


# お客様と共に未来を描く Developer



# デジタル化＝アプリ開発と運用

## デバイス、API、サービス、AI、Data



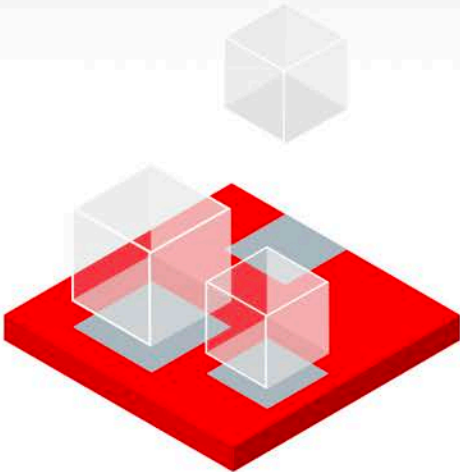
クラウド・コンピューティング

# Red Hat OpenShift

ハイブリッドクラウドやマルチクラウドのデプロイメントを管理

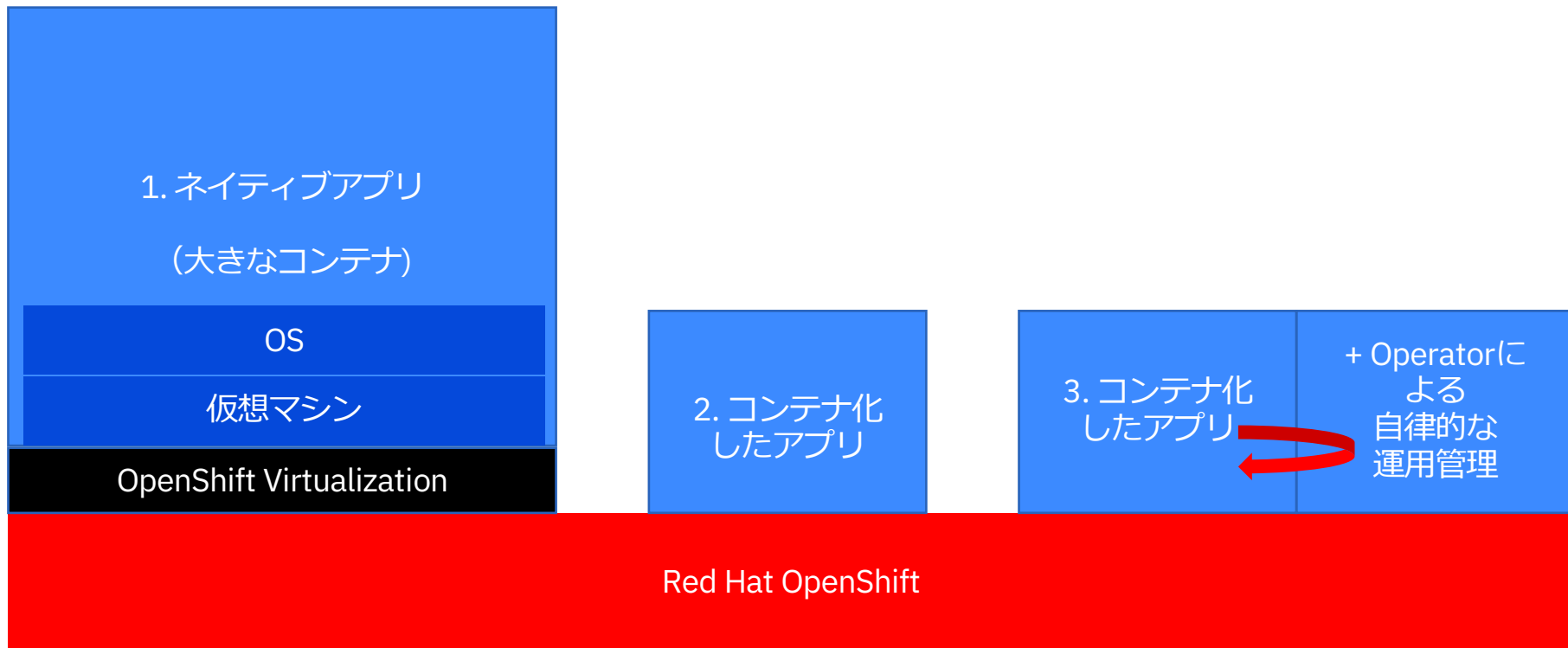
Red Hat® OpenShift® はエンタープライズ対応の Kubernetes コンテナプラットフォームで、ハイブリッドクラウドやマルチクラウドのデプロイメントを管理するフルスタックの自動運用機能を備えています。Red Hat OpenShift は、開発者の生産性を向上させ、イノベーションを促進できるよう最適化されています。

- 無料で試用する
- 購入する
- Red Hat へのお問い合わせ



仕組みを見る

# 仮想マシン、コンテナ、Operator

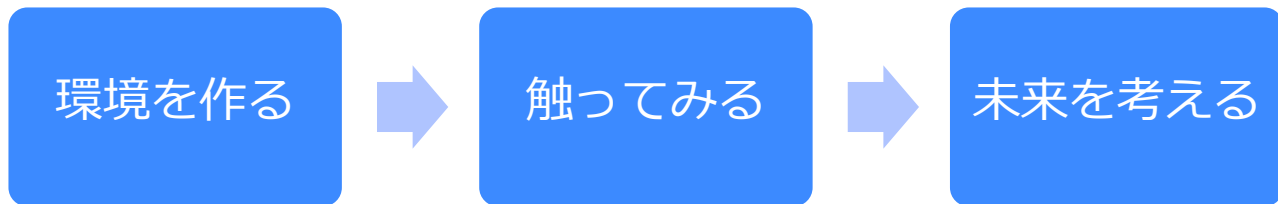


# Demo

OpenShift Virtualization (約6分)

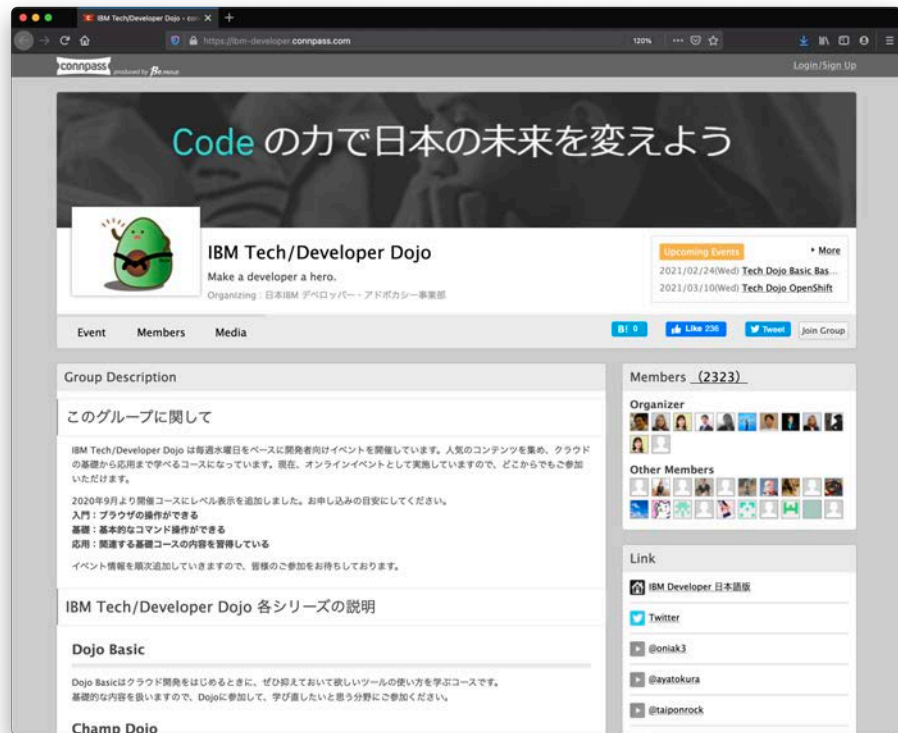
- Windows Server 2019 へのアクセス
- ASP.NET のアプリを OpenShift から公開
- インストール用のディスクの作り方
- Windows Server 2019 インストールの様子

# Red Hat OpenShift への向き合い方



# IBM Tech/Developer Dojo

<https://ibm-developer.connpass.com/>



IBM 技術の紹介  
IBM Cloud ハンズオン  
ソフトスキルアップ

OpenShiftも学べます

# Red Hat Developer

<https://developers.redhat.com/>

Red Hat Developerへの登録

The screenshot shows the Red Hat Developer website. The header includes the Red Hat logo, navigation links (Customer Portal, Developer, Developer Sandbox, Marketplace, OpenShift, Partner Connect), and a Log In button. The main content area features a 'Latest articles' section with links to various guides, a featured article 'Deploy a Java application on Kubernetes in minutes' with a 'Start the exercise' button, and a 'Build here' section with cards for Quarkus, OpenShift, and Red Hat OpenShift. A large blue arrow points from the 'Join Red Hat Developer' button on the right towards the 'Start the exercise' button.

Join Red Hat Developer

Learn more

## FEATURED TOPICS

Istio  
Quarkus  
CI/CD  
Serverless  
Enterprise Java  
Linux  
Microservices  
DevOps

## BUILD

Getting Started Center  
Developer Tools  
Hosted Che IDE  
Interactive Tutorials  
Container Catalog  
Operators Marketplace  
Certify Applications  
Red Hat on Github

## QUICKLINKS

What's new  
DevNation events  
Upcoming Events  
Books  
Cheat Sheets  
Videos  
Products



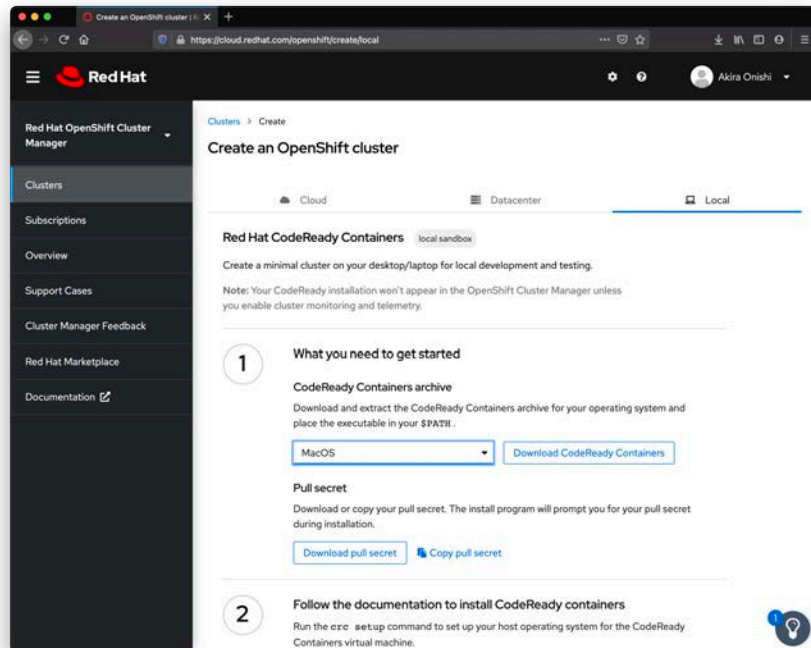
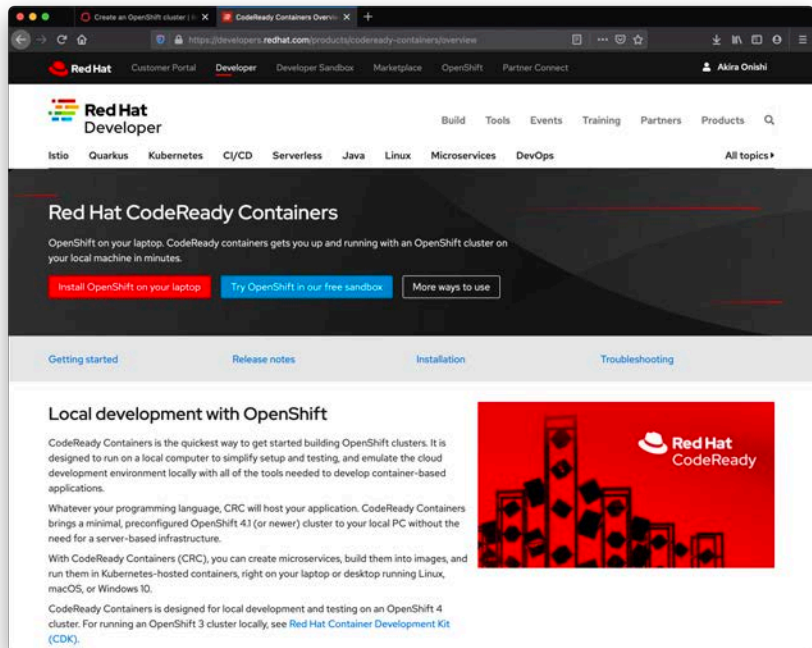
Copyright © 2021 Red Hat Inc.

[Cookie Preferences](#)



# Red Hat CodeReady Containers

<https://developers.redhat.com/products/codeready-containers/overview>

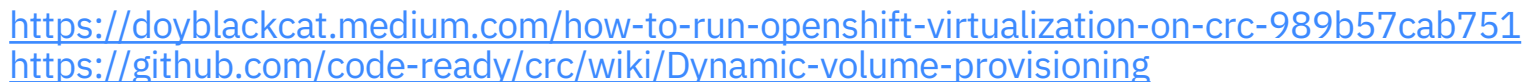


Windows, Mac, Linux にインストール

# Demo

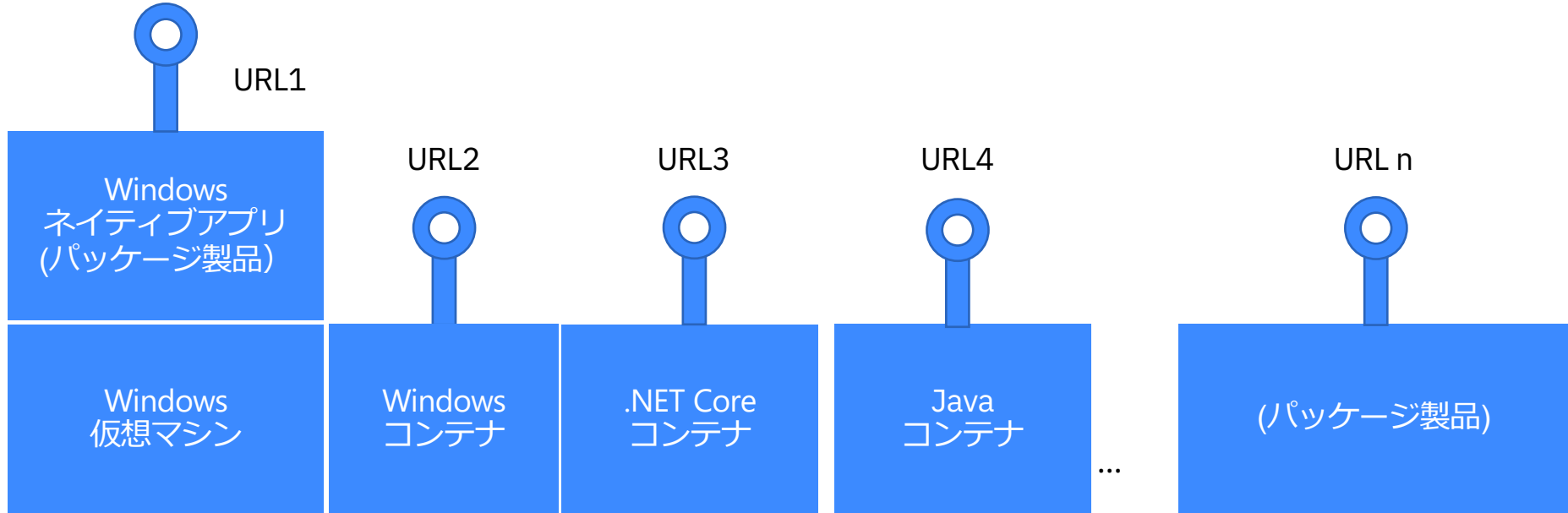
Red Hat Code Ready Containers

<https://twitter.com/oniak3/status/1362632700788543488>



```
crc config set memory 50000
crc config set disk-size 200
crc config set cpus 12
```

OpenShiftの力で  
日本の未来を変えよう



Red Hat OpenShift

ハイブリッド・クラウド

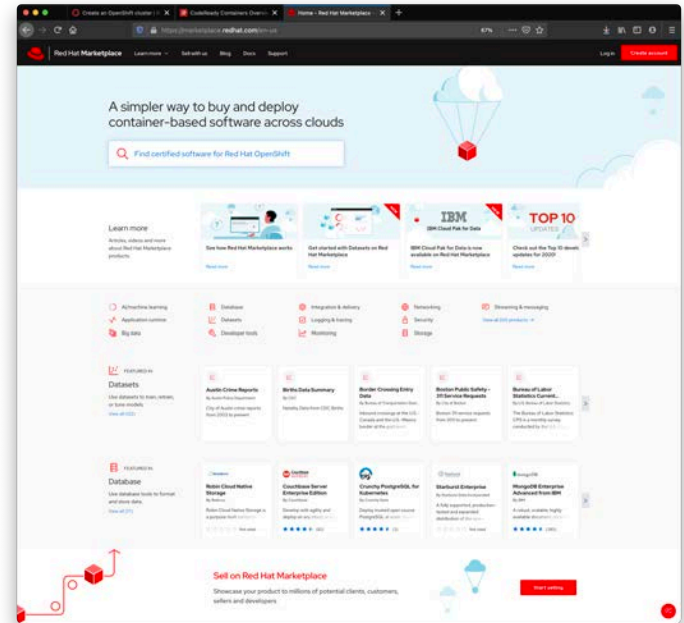
# Go to market

お持ちのアプリを OpenShift 対応



Red Hat Marketplace

<https://marketplace.redhat.com/en-us>



# 宣伝1: OpenShift × IBM Cloud

メリット

1: IBMとRed Hatとの連携

2. IBM Cloud 内部ネットワーク通信料金は無料

3: ベアメタルサーバーが使えるクラウド

(+5TBまでのインターネット帯域幅は無料)

## 宣伝2: エンジニア大募集中

ハイブリッド・クラウドを活用して  
IBMのお客様と新しい未来を切り開く  
Customer Success Manager (技術職)  
大募集



<https://ibm.biz/JD-CSMJapan>





# 宣伝3: パートナーご支援プログラム (✉ IBMPSDJP@jp.ibm.com)

## IBM Cloud 無料クレジット

初めてIBM Cloudを利用されるパートナーに、  
最大12,000 USドル分の無料クラウド・クレジットをご提供



サードパーティー製品や、ガレージサービスを除く、  
全てのIBMクラウドサービスが適用



検証、PoCや開発・構築作業への適用が可能



## Cloud Engagement Fund

ハイブリッドクラウドおよびAIでのイノベーションを促進される  
パートナーの取り組みへ、支援金をご提供

### ご提供の機会



#### ハイブリッドクラウド対応

IBMクラウド環境へのマイグレーション関連コストを負担



#### 新規のビジネス機会

お客様のIBMクラウド環境利用や、その案件成立に関するコストを負担



#### インセンティブ

設定したIBMクラウド利用目標を超えた場合の報奨金

具体的活用例：

- IBM技術者を活用し移行作業をした場合の費用
- パートナーご自身による移行作業に要した費用
- ワークロードをクラウドに移行する際の、クラウド利用費用

※プログラムには適用に際して詳細の適用条件等がございます。また、事前の予告なく変更される場合があります。

※これらのプログラムは、IBMビジネス・パートナーとなることでご利用いただけます。IBMビジネス・パートナーの登録、その他詳細はIBM (IBMPDJP@jp.ibm.com) までお問い合わせください

# まとめ

サブスクリプションの時代  
デジタルに変えることの重要性

Red Hat OpenShift、まずは体験から  
Red Hat Marketplace、新たなビジネス機会へ

アプリの力で日本の未来を変えよう

ワークショップ、セッション、および資料は、IBMまたはセッション発表者によって準備され、それぞれ独自の見解を反映したものです。それらは情報提供の目的のみで提供されており、いかなる参加者に対しても法的またはその他の指導や助言を意図したものではなく、またそのような結果を生むものでもありません。本講演資料に含まれている情報については、完全性と正確性を期するよう努力しましたが、「現状のまま」提供され、明示または暗示にかかわらずいかなる保証も伴わないものとします。本講演資料またはその他の資料の使用によって、あるいはその他の関連によって、いかなる損害が生じた場合も、IBMは責任を負わないものとします。本講演資料に含まれている内容は、IBMまたはそのサプライヤーやライセンス交付者からいかなる保証または表明を引きだすことを意図したものでも、IBMソフトウェアの使用を規定する適用ライセンス契約の条項を変更することを意図したものでもなく、またそのような結果を生むものでもありません。

本講演資料でIBM製品、プログラム、またはサービスに言及していても、IBMが営業活動を行っているすべての国でそれらが使用可能であることを暗示するものではありません。本講演資料で言及している製品リリース日付や製品機能は、市場機会またはその他の要因に基づいてIBM独自の決定権をもっているいつでも変更できるものとし、いかなる方法においても将来の製品または機能が使用可能になると確約することを意図したものでもありません。本講演資料に含まれている内容は、参加者が開始する活動によって特定の販売、売上高の向上、またはその他の結果が生じると述べる、または暗示することを意図したものでも、またそのような結果を生むものでもありません。パフォーマンスは、管理された環境において標準的なIBMベンチマークを使用した測定と予測に基づいています。ユーザーが経験する実際のスループットやパフォーマンスは、ユーザーのジョブ・ストリームにおけるマルチプログラミングの量、入出力構成、ストレージ構成、および処理されるワークロードなどの考慮事項を含む、数多くの要因に応じて変化します。したがって、個々のユーザーがここで述べられているものと同様の結果を得られると確約するものではありません。

記述されているすべてのお客様事例は、それらのお客様がどのようにIBM製品を使用したか、またそれらのお客様が達成した結果の実例として示されたものです。実際の環境コストおよびパフォーマンス特性は、お客様ごとに異なる場合があります。

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Cloud、IBM Cloud Paksは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml)をご覧ください。

YouTubeは、Google LLCの商標です。

ZUORA, SUBSCRIBEDはZuora Incの登録商標です。

Microsoft, Windows, Windows Server, .NET Framework, .NET, .NET Coreは、Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Macは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

Javaは、オラクルおよびその関連会社の登録商標です。

Red Hat, OpenShift, OpenShift Virtualization, Red Hat Marketplace は、Red Hat, Inc の商標または登録商標です。

Quarkus is open. All dependencies of this project are available under the [Apache Software License 2.0](#)